

科目名	公衆衛生学	担当教員	森 満 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	-------------------------

開 講 専 攻	分 野	種 別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	4年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR43BD	③、④					

科目概要	疾病の一次予防から三次予防にまで深く関わる公衆衛生学は、理学療法士と作業療法士の国家試験にも多数、出題される。そこで、4年次の後期という時期に行われる公衆衛生学の講義では、国家試験対策も視野に入れた講義が行われる。
学習目標	国際生活機能分類 ICF、高齢者の特徴、ADL・QOL、医療関連法規、生活習慣病対策、その他の疾病対策、医療保険、国民医療費、介護保険、人口動態、がん対策、障害者福祉、精神保健、難病対策、生活保護、医療制度、医療施設、医療倫理、社会保障、衛生行政、感染症対策、食品衛生、学校保健、生活環境、地球環境、労働衛生、疫学概念、疫学的研究デザイン、データの集約、疾患の測定、関連の強さと影響の大きさの測定、偶然の評価、予防概念、スクリーニング検査、診断学的検査について説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	国際生活機能分類ICF、ADL・QOL	1-1. 国際生活機能分類 ICF 1-2. 高齢者の特徴、認知機能	国際生活機能分類 ICF、高齢者の特徴、認知機能について説明できる。	
2	高齢者の特徴、医療関連法規	2-1. ADL・QOL 2-2. 医療関連法規	ADL・QOL、医療関連法規について説明できる。	
3	生活習慣病対策、医療保険など	3-1. 生活習慣病対策、その他の疾病対策 3-2. 医療保険、国民医療費	生活習慣病対策、その他の疾病対策、医療保険、国民医療費について説明できる。	
4	介護保険、がん対策など	4-1. 介護保険 4-2. 人口動態、人口動態、がん対策	介護保険、人口動態、人口動態、がん対策について説明できる。	
5	障害者福祉、医療倫理など	5-1. 障害者福祉、精神保健、難病対策、生活保護 5-2. 医療制度、医療施設、医療倫理、社会保障、衛生行政	障害者福祉、精神保健、難病対策、生活保護、医療制度、医療施設、医療倫理、社会保障、衛生行政について説明できる。	
6	感染症対策、労働衛生など	6-1. 感染症対策、食品衛生、学校保健 6-2. 生活環境、地球環境、労働衛生	感染症対策、食品衛生、学校保健、生活環境、地球環境、労働衛生について説明できる。	
7	疫学的研究デザイン、データの集約など	7-1. 疫学概念、疫学的研究デザイン 7-2. データの集約、疾患の測定	疫学概念、疫学的研究デザイン、データの集約、疾患の測定について説明できる。	
8	関連の強さと影響の大きさの測定、スクリーニング検査など	8-1. 関連の強さと影響の大きさの測定、偶然の評価 8-2. 予防概念、スクリーニング検査、診断学的検査	関連の強さと影響の大きさの測定、偶然の評価、予防概念、スクリーニング検査、診断学的検査について説明できる。	
評価方法		筆記試験（100％）過去の国家試験で出題された多肢選択問題と同様の形式の問題を60題出題し、マークシートに解答する。		
課題に対するフィードバック		各回とも講義資料と問題集を配布する。その中には、関連する国家試験形式の多肢選択問題が多数含まれているので、講義を受講して問題集に解答すること。試験日までに問題集の正解を配布するので、自分の解答を確認すること。試験によって、講義内容の理解度を判定する。		
教科図書		毎回、講義資料と問題集を配布する。		
参考図書		『国民衛生の動向』厚生労働統計協会 『国民の福祉と介護の動向』厚生労働統計協会		

学習の準備	(予習) 新聞やテレビなどのマスメディアにおける公衆衛生学と関連するさまざまな報道に普段から関心を持ち、関連する記事を読む (90 分)。 (復習) 講義で配布した資料と問題集を復習する (90 分)。
オフィスアワー	金曜日午前 9 時～午前 11 時、その他、在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験	